

# 不正会計リスクとIT利用監査の手法

- 日 時 2017年10月30日(月) 13:00~17:00
- 会 場 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講 師 石島 隆氏 法政大学経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科教授  
〔公認会計士、システム監査技術者、博士(創造都市)〕

1980年、中央大学商学部卒業。83年、公認会計士登録。監査法人サンワ東京丸の内事務所(現有限責任監査法人トーマツ)、(株)オービックビジネスコンサルタントを経てセンチュリー監査法人(現新日本有限責任監査法人)入所。98年、代表社員。2003年、大阪成蹊大学現代経営情報学部(現マネジメント学部)助教授。この間、日本公認会計士協会情報システム委員会(現IT委員会)委員、経済産業省・企業のIT統制に関する研究会委員等を歴任。07年より現職。03年より三栄源エフ・エフ・アイ(株)社外監査役、10年より(株)浅沼組社外監査役、アルテ監査法人パートナー、12年より金融庁契約監視委員会委員、日本金融監査協会事務局長、17年より(株)東信信用金庫非常勤理事を兼務。著書に『情報システムの内部統制』中央経済社、『ITのリスク・統制・監査』(共著)同文館出版 他。各種団体等での講演、セミナー実績多数。

## ●プログラム●

### 〔開催に当たり — 石島講師からのメッセージ〕

昨今、我が国の上場企業における不正会計が後を絶たない状況が続いています。不正会計には、金銭の着服を伴うものと財務諸表の粉飾を伴うものがありますが、対応策としては、統制活動の見直し・強化はいうまでもありませんが、さらにITを利用した内部監査を充実し、早期に兆候を捉えて、対処することが求められています。

そこで、本セミナーでは、まず、不正会計の類型を整理して内部統制との関係を検討し、次に上場企業における不正会計事例を分析した上で、不正会計リスクに対応するためのIT利用監査の手法について解説します。

是非この機会に関係各位の積極的ご参加をおすすめいたします。

## 1. 不正会計の類型と内部統制

- (1) 不正会計の類型
- (2) 金銭の着服を伴う不正のパターン
- (3) 財務諸表の粉飾を伴う不正のパターン
- (4) 不正会計と内部統制の関係

## 2. 不正会計事例の分析

- (1) 新興上場企業における不正事例
- (2) 海外子会社における不正事例
- (3) 金銭の着服発見のための着眼点
- (4) 決算データ分析のシナリオ

## 3. IT利用監査の手法

- (1) IT利用監査のプロセス
- (2) IT利用監査の技法とツール
- (3) IT利用監査におけるデータ分析手法
- (4) IT利用監査における可視化手法
- (5) IT利用監査における人工知能の活用

### <質疑応答>

## ●参加要領●

### ●受講料：1名(資料代含)

正会員	31,320円	一般	34,560円
-----	---------	----	---------

[本体価格 29,000円 本体価格 32,000円]

\*会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者をご出席頂けない場合は、代理の方のご出席をお願い致します。

### ●申込先

一般社団法人 企業研究会 経営管理研究グループ  
 担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp  
 〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2  
 TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951

171620-0206	10/30	不正会計リスクとIT利用監査の手法	
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			

★FAXでお申込の際、「0(ゼロ)発信のFAX機」をご使用の場合は、必ず「0」を押してから、番号入力をお願い致します。(別番号への誤送信にご注意ください。)

<弊会ホームページからも申込み可能です。「トップ」→「セミナー・会員研究会」→「03 監査」>